

4 「昭和63年度生まれの者」と「昭和33年度生まれの者」の年間発育量の比較

平成18年度調査で17歳の「昭和63年度生まれの者」と、30年前の昭和51年度調査で17歳の「昭和33年度生まれの者」（親の世代）の6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量について比較すると、表5と図6～9のとおりになります。

(1) 身長

身長の年間発育量について「昭和63年度生まれの者」と「昭和33年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「昭和63年度生まれの者」が11歳～12歳（年間発育量7.6cm）、「昭和33年度生まれの者」は12歳～13歳（同8.9cm）になっています。女子では、「昭和63年度生まれの者」が10歳～11歳（同6.7cm）、「昭和33年度生まれの者」は10歳～11歳（同6.5cm）になっています。

また、身長の発育量を小学校の時期（6歳から12歳までの時期）と中学校・高等学校の時期（12歳から17歳までの時期）とに分けてみると、男子では、小学校の時期は「昭和63年度生まれの者」が35.5cm、「昭和33年度生まれの者」は32.9cmで、「昭和63年度生まれの者」の方が大きくなっていますが、中学校・高等学校の時期は「昭和63年度生まれの者」が19.3cm、「昭和33年度生まれの者」は23.1cmで、逆に「昭和33年度生まれの者」の方が大きくなっています。女子でも、小学校の時期は「昭和63年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は「昭和33年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「昭和63年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和33年度生まれの者」よりも男子は1.2cm、女子は1.8cmそれぞれ小さくなっています。

(2) 体重

体重の年間発育量について「昭和63年度生まれの者」と「昭和33年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「昭和63年度生まれの者」が11歳～12歳（年間発育量6.0kg）、「昭和33年度生まれの者」は12歳～13歳（同7.1kg）になっています。女子では、「昭和63年度生まれの者」が10歳～11歳（同5.0kg）、「昭和33年度生まれの者」は12歳～13歳（同6.1kg）になっています。

また、体重の発育量を小学校の時期と中学校・高等学校の時期とに分けてみると、男女とも、小学校の時期は「昭和63年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は「昭和33年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「昭和63年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和33年度生まれの者」よりも男子は2.3kg大きく、女子は1.7kg小さくなっています。

表5 「昭和63年度生まれの者」と「昭和33年度生まれの者」の年間発育量

性別	年齢区分	身長 (cm)				体重 (kg)			
		昭和63年度 生まれの者		昭和33年度 生まれの者		昭和63年度 生まれの者		昭和33年度 生まれの者	
男 子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.5		5.7		2.5		2.4	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.6		5.6		2.6		2.4	
	8歳(小3)～9歳(小4)	6.0	35.5	5.1	32.9	4.1	22.5	3.0	18.6
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.0		5.4		3.3		3.2	
	10歳(小5)～11歳(小6)	5.8		3.6		4.0		3.1	
	11歳(小6)～12歳(中1)	7.6		7.5		6.0		4.5	
	12歳(中1)～13歳(中2)	7.2		8.9		5.0		7.1	
	13歳(中2)～14歳(中3)	6.0		6.8		5.5		5.7	
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.1	19.3	4.2	23.1	5.8	20.4	4.7	22.0
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.0		2.3		1.6		2.9	
	16歳(高2)～17歳(高3)	2.0		0.9		2.5		1.6	
	11年間の総発育量	54.8		56.0		42.9		40.6	
	年間発育量の最も大きい年齢	11歳～12歳		12歳～13歳		11歳～12歳		12歳～13歳	
	女 子	6歳(小1)～7歳(小2)	6.0		5.8		2.5		2.3
7歳(小2)～8歳(小3)		5.6		5.4		3.0		2.5	
8歳(小3)～9歳(小4)		6.4	36.2	5.7	35.4	3.7	22.9	3.1	20.7
9歳(小4)～10歳(小5)		6.4		6.3		4.1		3.7	
10歳(小5)～11歳(小6)		6.7		6.5		5.0		4.6	
11歳(小6)～12歳(中1)		5.1		5.7		4.6		4.5	
12歳(中1)～13歳(中2)		3.6		5.1		3.9		6.1	
13歳(中2)～14歳(中3)		1.4		2.1		2.6		3.2	
14歳(中3)～15歳(高1)		0.5	6.5	1.0	9.1	1.7	9.5	2.4	13.4
15歳(高1)～16歳(高2)		0.7		0.9		1.5		1.2	
16歳(高2)～17歳(高3)		0.3		0.0		△0.2		0.5	
11年間の総発育量		42.7		44.5		32.4		34.1	
年間発育量の最も大きい年齢		10歳～11歳		10歳～11歳		10歳～11歳		12歳～13歳	

- (注) ・年間発育量は、たとえば昭和63年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成8年度調査の7歳の体格から平成7年度調査の6歳の体格を引いたものです。
- ・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
 - ・昭和63年度生まれの者とは、昭和63年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた者で、平成7年度調査の6歳、平成18年度調査の17歳です。
 - ・昭和33年度生まれの者とは、昭和33年4月2日から昭和34年4月1日までに生まれた者で、昭和40年度調査の6歳、昭和51年度調査の17歳です。

図6 昭和63年度生まれの者と昭和33年度生まれの者の年間発育量（身長・男子）

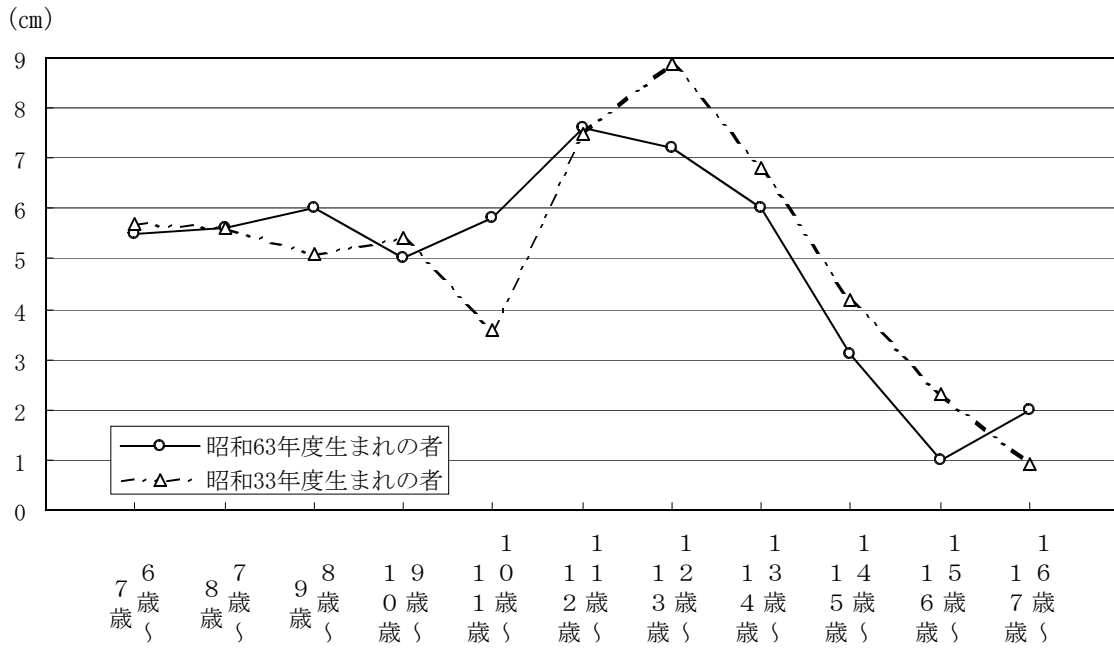


図7 昭和63年度生まれの者と昭和33年度生まれの者の年間発育量（身長・女子）

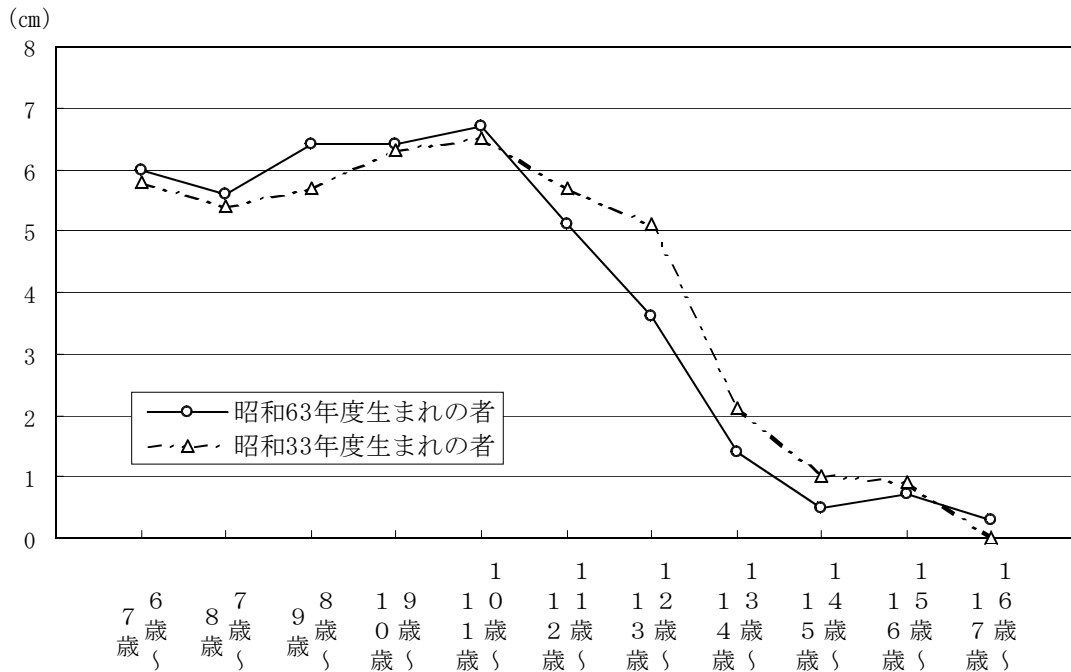


図8 昭和63年度生まれの者と昭和33年度生まれの者の年間発育量(体重・男子)

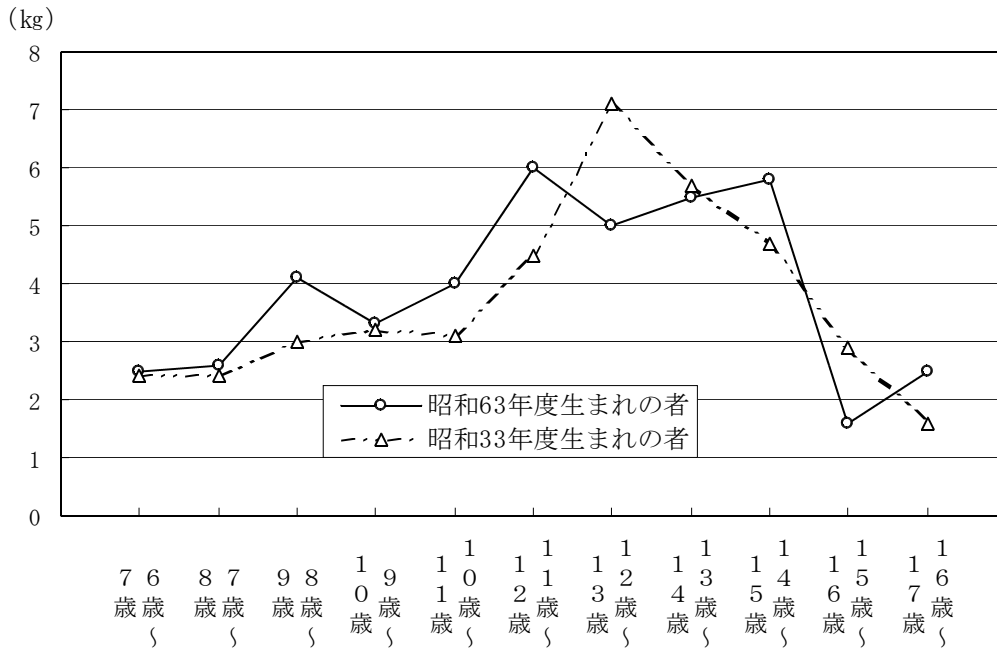


図9 昭和63年度生まれの者と昭和33年度生まれの者の年間発育量(体重・女子)

